

【第123回都市美対策審議会 主な意見】

- 地域まちづくり推進条例などのまちづくりの手法との連動についても整理すべき。
- 実録集に記載する「目指すべき景観」は、何を根拠としているのか明確にするべき。
- 実践編に取り上げる事例は本編と関連してどう評価できるのかを整理するべき。
- 景観協議の前提となる現況把握などの手法を明らかにするとよい。
- 横浜市は景観づくりを大切にしていることがメッセージとして伝わるものとするべき。

本編作成

実践編作成

	本編	実践編
都市美審 (政策検討部会) 意見	【第15回(12月開催)】 <ul style="list-style-type: none"> ●過去の景観づくりの経過を示しつつ、どういう社会の変化があって景観ビジョンをどう変えるのかを示すべき。 ●行政・事業者・市民が協働して進めてきたプロセス自体が「横浜らしさ」では。 ●市民でも読みやすい工夫を。(表現、小見出し、イラスト) ●図表の表現は正確に。 	【第16回(1月開催)】 <ul style="list-style-type: none"> ●市民向けと事業者向けが一緒になっていることに違和感がある。 ●事例について精査が必要。(昔の事例、純粋な民間事業、様々なレベル感、郊外、掲載順序) ●本編と実践編のつながりがわかるとよい(10のポイントに関するものは事例として入れる等) ●まちづくり(景観づくり)のステップに沿った記載順にするべき。 ●本編・実践編・資料編の連携を明確に。
庁内照会による意見	<ul style="list-style-type: none"> ●冒頭文は、横浜における景観の価値をもっと強調すべき。 ●特に大きな建築物を計画する場合は、特に優れた景観とすることを伝えるべき。 ●地域別の記載内容については、関係する計画の整合等、調整が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ●景観づくりとまちづくりの違いが分かりにくい。 ●市民向けと事業者向けという、それぞれの趣旨を明確にすることが必要。 ●市民のまちづくりは景観づくりだけが目的ではないので書き方に注意が必要。 ●事例については精査が必要。

修正

修正

【第124回(今回)都市美対策審議会】

大きな修正の方向性 (今回ご審議 いただきたい点)	資料1-3 ①冒頭文を強調して記載 資料1-4 ②序章～第1章に、本市の景観づくりの取組や課題等を整理して加え、再構成 ③「大規模な建築行為において求められる景観づくり」を追加	資料1-5 ④冒頭文で、位置づけや趣旨を明確化 ⑤「2.身近な景観づくりのヒント集」を事例中心に再構成
---------------------------------	--	--

修正

修正

第17回政策検討部会(5月)

景観ビジョン改定素案について

第125回都市美審(7月)

景観ビジョン改定素案について

素案確定・市民意見募集

目次案 対照表

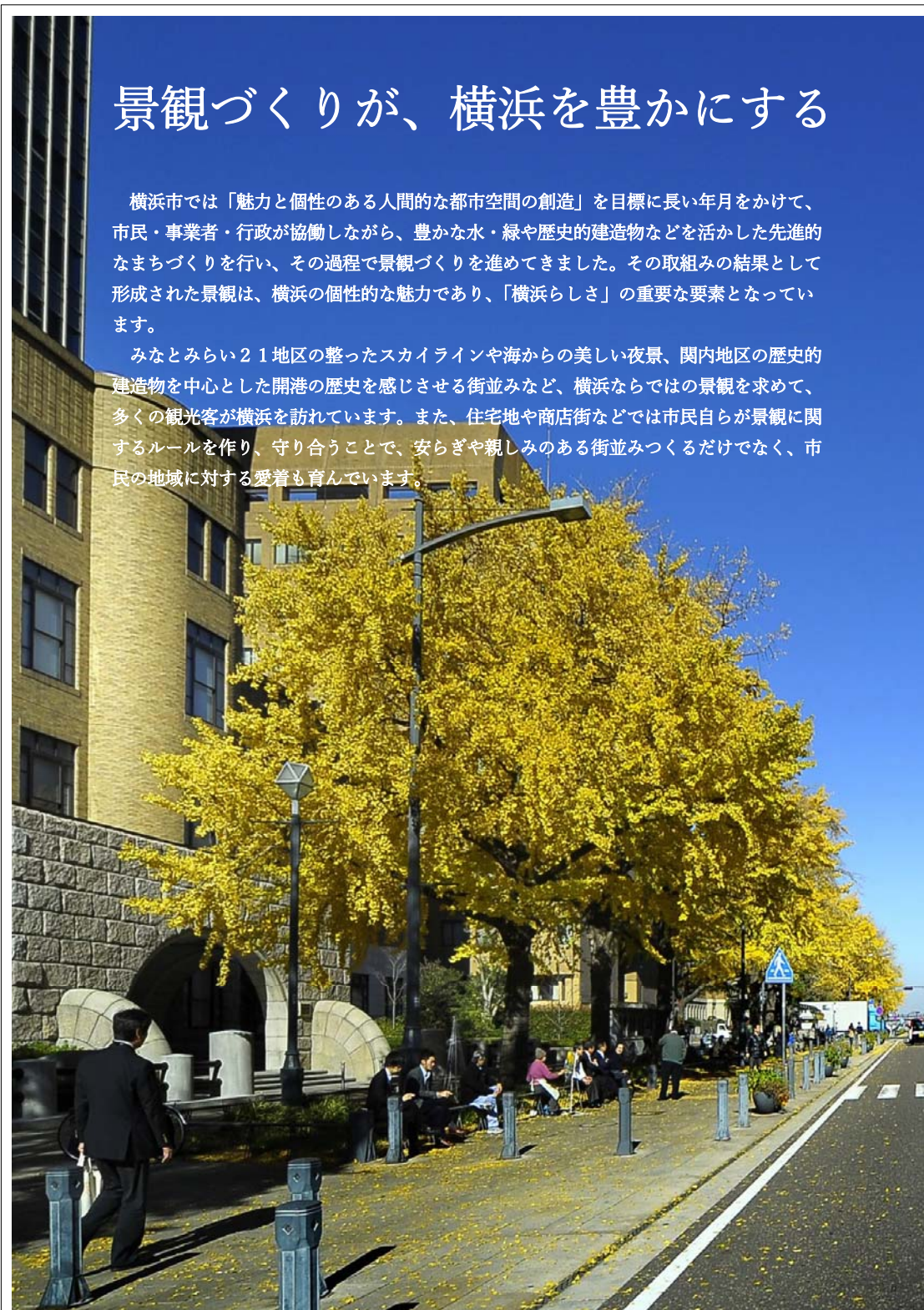
政策検討部会付議案	修正案
景観づくりが、横浜を豊かにする	景観づくりが、横浜を豊かにする ※本市の景観に関する取組の実績や、景観づくりが大切であることを、強調して記載します
目次 03 景観ビジョンの使い方	目次 景観ビジョンの使い方
序章 景観ビジョンについて 09 1 景観ビジョンとは 11 2 景観ビジョンの位置づけ 13 3 景観ビジョンの改定について	序章 横浜市景観ビジョンについて 1 景観ビジョンとは 2 景観ビジョンの位置づけ
	<u>第1章 横浜の景観づくりと課題</u> 1 景観づくりの系譜 2 変化する社会状況と景観づくりの課題 3 景観ビジョンの改定について
第1章 横浜の景観づくり 17 1 景観と景観づくり 19 2 景観づくりの意義 21 3 市民・事業者・行政の役割 23 4 景観を考える手がかり	<u>第2章 景観を考える際の基礎的事項</u> 1 景観と景観づくり 2 景観づくりの意義 3 市民・事業者・行政の役割 4 景観の将来像を考える手がかり 1. 地域の景観を考えるプロセス 2. 地域の景観に大きな影響等を与えるものを計画する際に求められる視点
第2章 景観づくりの方向性 27 1 横浜らしい景観をつくるポイント 33 2 地域ごとの景観づくりの方向性 1. 地域ごとの景観の特徴 2. 各地域における景観づくりの方向性	第3章 景観づくりの方向性 1 横浜らしい景観をつくるポイント 2 地域ごとの景観づくりの方向性 1. 地域ごとの景観の特徴 2. 各地域における景観づくりの方向性
第3章 行政による景観づくりに関する取組方針 63 1 創造的協議による景観づくり 00 2 規制や誘導による景観づくり 00 3 景観づくりに係わる事業と調整 00 4 景観づくりの普及と協働	<u>第4章 景観づくりに関する取組</u> 1 創造的協議による景観づくり 2 規制や誘導による景観づくり 3 景観づくりに係わる事業と調整 4 景観づくりの普及と協働
実践編 景観づくりの方法 00 1 創造的な景観づくりの実録集 00 2 身近な景観づくりのヒント集 1. まちづくりのステップと景観をよくするポイント 2. 地域の魅力発見キーワード	<u>実践ガイド 景観づくりの事例と方法</u> 1 創造的協議による景観づくりの実録集 2 身近な景観づくりのヒント集 1. <u>まちづくりの事例と景観のポイント</u> 2. まちづくりのステップと景観をよくするポイント 3. <u>景観づくりにつながるまちづくりの手法や制度</u> 4. 地域の魅力と個性発見キーワード
資料編 00 1 都市デザインビジョンとの関係 00 2 景観行政の評価 00 3 社会状況の変化と市民意識調査 00 4 景観づくりを支えるしくみ	(※本編に組み込みます。)

→資料
1-3資料
1-4→資料
1-5

景観づくりが、横浜を豊かにする

横浜市では「魅力と個性のある人間的な都市空間の創造」を目標に長い年月をかけて、市民・事業者・行政が協働しながら、豊かな水・緑や歴史的建造物などを活かした先進的なまちづくりを行い、その過程で景観づくりを進めてきました。その取組みの結果として形成された景観は、横浜の個性的な魅力であり、「横浜らしさ」の重要な要素となっています。

みなとみらい21地区の整ったスカイラインや海からの美しい夜景、関内地区の歴史的建造物を中心とした開港の歴史を感じさせる街並みなど、横浜ならではの景観を求めて、多くの観光客が横浜を訪れています。また、住宅地や商店街などでは市民自らが景観に関するルールを作り、守り合うことで、安らぎや親しみのある街並みつくるだけでなく、市民の地域に対する愛着も育んでいます。



景観は横浜で生活する私たち共通の資産であり、良好な景観を維持すること、新たに創出することは私たちの生活を豊かにするとともに、観光振興や企業誘致等都市間競争の視点からも、横浜の活性化のために重要な取組みです。

これからも「住みたい」「働きたい」「訪れたい」と思える豊かな横浜であり続けるため、私たちは互いに協力し、景観づくりを絶え間なく、力強く進めていく必要があります。



* 本ビジョンでは、横浜市に関わる市民、事業者、行政を「私たち」と捉えています。